

2024年6月25日

国際的に権威ある独デザイン賞
コンセプトモデル『アップサイクリングギター』と『e-plegona』が
「Red Dot デザイン賞」デザインコンセプト部門で受賞

ヤマハ株式会社（以下、当社）のエレキギターのコンセプトモデル『アップサイクリングギター』と、ヤマハ発動機株式会社（以下、ヤマハ発動機）と当社が共同制作した体験型インスタレーション『e-plegona（エプレゴナ）』が、ドイツのデザイン賞「Red Dot デザイン賞デザインコンセプト2024」を受賞しました。

「Red Dot デザイン賞」は、ノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンターが主催する国際的に権威のあるドイツのデザイン賞で、「プロダクトデザイン」「ブランド&コミュニケーションデザイン」「デザインコンセプト」の3部門から構成されます。

「プロダクトデザイン」部門では、本年、当社の3製品が受賞^{*1}しました。

「デザインコンセプト」部門は、優れた製品の先駆けとなる新しいデザインやコンセプト、革新性をもつプロトタイプをはじめ、さまざまな開発段階の作品を評価するものです。当社は、2017年のヤマハ発動機と共同制作した音を奏でる電動アシスト車いす『&Y（アンディ）01』に次いで、累計で3件の受賞となりました。



reddot winner 2024



コンセプトモデル『アップサイクリングギター』
(左から モデル「マリンバ」、モデル「ピアノ」)



体験型インスタレーション『e-plegona』

<受賞作品 概要>

コンセプトモデル『アップサイクリングギター』

楽器製造の過程で発生した未利用材^{*2}をアップサイクル^{*3}して新たな価値や魅力を持つ楽器を創り出すことを目指すプロジェクトから誕生した、エレキギターのコンセプトモデルです。

モデル「マリンバ」にはマリンバの音板に使用されるローズウッドを、モデル「ピアノ」にはピアノ用のスプルース、カバ、メイプルなどの未利用材を使用し、それぞれの木材の特徴を生かした楽器となっています。

https://www.yamaha.com/ja/tech-design/research/news/23_upcyclinguitar/



インスタレーション『e-plegona (エプレゴナ)』

ヤマハ発動機と当社の両社のデザイン部門が、研究パートナーである Mark Changizi (マーク・チャンギー) 博士と、カリフォルニア工科大学・下條信輔研究室と共に進めている「感動」体験の研究成果に基づいて創り出したものです。

2名のプレイヤーがペアとなって非言語的かつ直感的な意思伝達を繰り返しながら体験するインスタレーションです。

科学とアートを融合させた独自の研究成果に基づき、非言語的で直観的なコミュニケーションによって感情の揺れを人工的に発生させることで、ジャズの即興演奏のような人と人の「一体感」、あるいは、人が楽器やオートバイに対して感じる「一体感」と、そこから生まれる感動を疑似体験できる研究プロトタイプです。

本作品は、2023年、最先端テクノロジーの祭典「サウス・バイ・サウスウエスト 2023」(アメリカ・テキサス州オースティン) および欧州最大規模のイノベーションフェスティバル「hub.berlin (ハブ・ベルリン)」(ドイツ・ベルリン)、イノベーションをテーマにしたテクノロジー・カンファレンス「Tech Open Air Festival (テック・オープン・エア・フェスティバル)」(ドイツ・ベルリン) に共同出展しました。



<https://www.yamaha.com/ja/tech-design/design/research/e-plegona/>

<関連サイト>

- ・ヤマハデザインサイト <https://www.yamaha.com/ja/tech-design/design/>
- ・Red Dot デザイン賞 公式サイト <https://www.red-dot.org/>
- ・『アップサイクリングギター』関連ニュースリリース (2023年9月6日)
https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23090602/
- ・『e-plegona』関連ニュースリリース (2023年6月20日)
https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23062001/

※1 ニュースリリース (2024年4月18日)

電子ピアノ『CSP-295』、ライブストリーミングマイクロフォン『AG01』、ヘッドホン『YH-5000SE』が「Red Dot デザイン賞」を受賞 https://www.yamaha.com/ja/news_release/2024/24041801/

※2 木材を厳選し加工する過程で発生し、楽器づくりに使用されなかった材料や端材のこと。

※3 捨てられるはずだったものに新しい価値を与え、より高い価値のものに生まれ変わらせること。

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：矢幡

TEL. 03-5488-6605

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)
